

気温も高くなり、夏を感じられる気候になってきましたが、前西生の皆さん、お元気でしょうか

## ビブリオバトル結果報告

6/13の金曜日13:00より、図書館でミニビブリオバトルを行いました！  
ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る、本を通して人を知る。」知的書評合戦です。

- 今回、同票で2冊がチャンプ本となりました。
- ・火のないところに煙は 芦沢 央 著(新潮文庫)
  - ・爆弾 呉勝 浩 著(講談社)

私自身も参加させていただきましたが、いつも読まないジャンルの本の魅力を聞くことができ、非常に興味深い体験ができました。

今回紹介された5冊は、図書館内にまとめて展示しましたので、ぜひ見に来てください。

3~4人集まれば、ビブリオバトルを開催できます！やってみたいという方は、司書まで相談してください。



## 君の話 三秋 縋ノ著（早川書房）

新型アルツハイマーという、古い記憶から消えていく病から端を発した、ナノロボットによる記憶の改変技術が発達した世界。この記憶改変技術は、存在しない記憶、義憶を埋め込んだり、記憶を消したりすることが可能であった。

主人公の天谷 千尋は、機能不全家庭で育った。両親は義憶に溺れており、父は、よく母の名を呼び間違えたし、母はよく主人公の名を間違えた。そんな家庭で育った彼は、極度の義憶嫌いとなっていた。

しかし、とあるきっかけで、「夏凧 灯花」という幼馴染の女の子の義憶を埋め込まれることになった。そんな中、天谷 千尋は出会ってしまう。義憶の中にしかない義者、架空の人物であるはずの、夏凧 灯花と。

「君は、色んなことを忘れてるんだよ」彼女は寂しげに笑う「でもね、それは多分、忘れる必要があったからなの」

なぜ、存在しないはずの幼馴染がいるのか、彼女の正体は何なのか。本当に、夏凧 灯花という幼馴染がいたのか。

これは、出会う前から続いていて、始まる前に終わっていた恋の物語だ。

とても良いお話なので、皆さんぜひ一度お手に取ってみてください！